

# 図書館の窓から

浜田高校図書館  
R2.3.19 発行  
1-12号



直前まで、卒業式は本当に挙行できるのか？とハラハラしましたが、何とか3年生を送り出すことができました。「図書館の居心地が良かった」という言葉を残してくれた3年生の★★さん、ありがとう。ここ数年、「サードプレイス」という言葉を耳にする機会が増えました。①家、②学校や職場、これ以外の「第3の居場所」(Third Place) のことです。図書館は常に、皆さんにとっての第3の居場所でありたいと思っています。卒業後も「浜高に図書館があって良かったな」と思ってもらえるような、そんな図書館でありたいと。



## 【進路に関する本】

327『行政書士になるには』三田達治/編著  
499『薬剤師になるには』井手口直子/編著

## 【島根に関する本】

093.1『みんなでつくる中国山地 2019』  
★私たちの故郷は私たちがつくるもの!!  
094.9『私は、看取り士。』柴田久美子/著  
★人生の最期に寄り添う「看取り士」の著者が、これまでの出会いとふれあいを紹介。  
097.8『だから僕は練習する』和田毅/著  
★我らの先輩、和田投手。“普通の野球少年”が実践してきた、自分を高め続ける方法とは。

## 【死生観】

114『「死」とは何か イェール大学で23年連続の人気講義』シェリー・ケーガン/著  
★改めて思う。「死」とは何か、と。答えはないかもしれないけど、考える。  
114『Death』Shelly Kagan/著  
★↑『「死」とは何か』の原書。原書名はより直球で胸に刺さりますね。  
124『くまのプーさん心にハチミツを』  
★頑張らないからこそうまくいく。『くまのプーさん』のエピソードを通して、老子と荘子が説いている「タオイズム」を学ぶ。

## 【移民】

334『ふるさとって呼んでもいいですか』  
★想定外な日本の暮らし、学校生活、在留特別許可、2つの国のはざまで揺れる思い。6歳のときにイランから来日した著者による人生録。

## 【青少年問題】

368『虐待された少年はなぜ、事件を起こしたのか』石井光太/著  
★被虐待、性非行、ドラッグ依存…。少年犯罪の病理と矯正教育の最前線を追う。

## 【福祉・災害】

369『認知症フレンドリー社会』徳田雄人/著  
★認知症の人も普通に暮らせるよう、社会を変えてみる。認知症の人が暮らしやすい仕組みを提言。  
369『災害支束手帖』荻上于キ/著  
★楽しく学べる、災害支援のヒント集。被災者を助けた、本当に役立つ事例が盛りだくさん。

## 【教育】

372『2020年からの新しい学力』石川一郎/著  
★2020年の教育改革で、新しい時代に必要な学力は身につくのか。  
375『国語教育の危機』紅野謙介/著  
★「共通テスト」と「新学習指導要領」を分析し、そこから見える国語教育の問題点を指摘する。  
375『国語教育混迷する改革』紅野謙介/著  
★↑『国語教育の危機』の続編。「論理」と「文学」を分けると何が起きるか。  
377『理系・文系「ハイブリッド」型人生のすすめ』江勝弘/著  
★AI時代に求められる、理系・文系の垣根を超えた「ハイブリッド」型の人間。  
379『全教科対応!読める・わかる・解ける超読解力』善方威/著  
★読解力を高めるために重要なのは、「図式」や「道具」に「あてはめる力」。国語専門塾の代表が「最強の読み方」を公開。

## 【数学】

417『モンティ・ホール問題』  
★広く論争を巻き起こした確率クイズ「モンティ・ホール問題」。その真の姿にせまる。

## 【絶滅】

467『もうすぐいなくなります』池田清彦/著  
★地球上に現れた生物の99%はすでに絶滅。人類はいつ消える?



# 春休み前の貸出&春休み中の図書館利用について

返却期限：4月8日（水）始業式

※終業式前に休校が決まった場合も、返却期限は4/8とします。

貸出冊数：10冊まで

※春休み中は図書館を休館します。

本の返却は、図書館の前に出してある返却BOXをお願いします。

※長期延滞中の本がある人は、返却してからスッキリした気分でご来校をお願いします。



## 新着図書案内

- ・数字：背ラベルの分類番号
- ・月：リクエストされた本
- ・☎：寄贈していただいた本

## 【動物】

481『水族館が好きすぎて!』まつおるか/著  
★読んでからアクアスに行くと2倍楽しめます。

## 【技術】

507『すごいぞ!はたらく知財』内田朋子/ほか著  
★著作物、特許、商標、意匠などの知的財産にかかわる11の仕事に焦点をあてて解説。

## 【製菓】

596『スコーン大好き!』小関由美/著  
★プロから料理上手のアマチュアまで、15人のとっておきのスコーンと英国菓子のレシピをご紹介します。

## 【畜産】

648『まるごとわかるタマゴ読本』渡邊乾二/著  
★国民食(材)とも言えるタマゴについて、どれだけ知っていますか?

## 【マンガ】

726『阿Q正伝』鲁迅/原作  
726『クリスマス・キャロル』ディケンズ/原作  
★名作への第一歩を、まずはマンガから。願わくは次に小説を読んでみて。

## 【写真】

746『スマホで旅行写真コツと裏ワザ』  
★せっかく撮るなら美しく撮りたい。スマホカメラの機能を最大限生かす方法を伝授。

## 【日本語】

810『おなかぺこぺこオノマトペ』  
★日本語特有のオノマトペ。ズキズキ、ヒリヒリ、ジンジン、そんな痛みを英語ではどう表現する?

## 【日本の小説】

913『凜の弦音(つるね)』我孫子武丸/著  
★ひたすら弓道に打ち込む高校1年の凜は、師匠・棚橋先生の家で起きた事件に巻き込まれ、見事に解決。いつの間にかネットで「天才弓道美少女」と評判になるが…。  
913『イマジン?』有川ひろ/著  
★憧れていた映像制作の現場に飛び込んだ、良井良助。専門用語が飛び交う慣れない現場であたふたするが、作品と向き合う仲間たちの熱気に、焦がれるような思いを募らせ…。  
913『未来職安』柞刈湯葉/著  
★仕事はほとんどAIが行い、人間にはBIが支給される。そんな近未来の世の中にある「職安」とは?  
913『ドミノ in 上海』恩田陸/著  
★上海のホテル「青龍飯店」で、25人(と3匹)の思惑が重なり合う。もつれ合う人々、見知らぬ者同士がすれ違うその一瞬、運命のドミノが次々と倒れてゆく。

913『ジャンヌ』河合莞爾/著  
★絶対に人を殺せないはずの家事用人間型ロボット<ジャンヌ>が、主人を殺害した。彼女に対峙した刑事が、衝撃の事件の先に見たものとは。  
913『熱源』川越宗一/著  
★明治維新後、樺太のアイヌに何が起こっていたのか。アイヌの闘いと冒険を描く傑作巨篇。直木賞受賞作。

913『めぐり逢いサンドイッチ』谷瑞恵/著  
★鞆公園にある「ピクニック・バスケット」は、笹子と藤子の姉妹が営む手作りサンドイッチの専門店。人々の心を、絶品サンドイッチが癒やす物語。



913『時限病棟』知念実希人/著  
★目覚めると、彼女は病院のベッドで点滴を受けていた。なぜこんな場所にいるのか。監禁された男女5人が脱出を試みるも…。

913『宝石商リチャード氏の謎鑑定 1~9』  
★辻村七子/著

★酔っ払いに絡まれる美貌の外国人・リチャード氏を助けた正義。彼が敏腕宝石商と知り、いわくつきのピンク・サファイアの鑑定を依頼するが…。

913『線は、僕を描く』砥上裕将/著  
★両親を事故で失い、喪失感の中にあつた大学生の霜介。偶然出会った水墨画の巨匠・篠田湖山に気に入られ、その場で内弟子にされてしまうが、湖山の孫・千瑛はそれに反発し…。

913『ブルー』葉真中頭/著  
★その怒り、その悲しみ、その絶望。なぜ殺人鬼が生まれたのか?平成30年間の文化・風俗を俯瞰しながら、格差社会が生んだ闇に迫る。

913『背高泡立草』古川真人/著  
★草は刈らねばならない。そこに埋もれているのは、納屋だけではないから。長崎の島に暮らし、時に海から来る者を受け入れてきた一族の物語。芥川賞受賞作。

913『空は逃げない』まはら三桃/著  
★佐藤倫太郎と佐藤林太郎は、同じ大学陸上部の棒高跳びの選手。ふたりの前に、練習風景を熱心にスケッチしていた芸術学部の絵怜奈が現れ、自分も棒高跳びの選手になりたいと志願し…。

913『友達未遂』宮西真冬/著  
★全寮制女子校・星華高等学校の「マザー制度」は、3年生を「マザー」、1年生を「チャイルド」といつて寝食を共にしルールやマナーを教える。1年生の茜は、マザーである桜子に可愛がられるが、ある日不審な事件が起きて…。

913『不終(おわらず)の怪談 case 小泉八雲』矢野隆/著

★本の中の世界を破壊する侵蝕者との戦いのため、転生したばかりの小泉八雲は、自らが黒く染まる不吉な夢を見ていた。そこへ自著「怪談」が侵蝕を受けているという知らせが…。